

安政五年（1858）、江戸を初め全国的にコレラが大流行しました。コレラはコレラ菌によって小腸が侵されて激しい下痢と高熱を伴い死に至らしめる急性伝染病です。

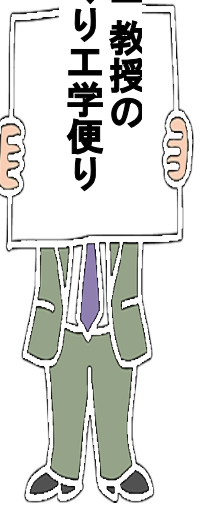
明治まで、コレラは「コロリ」と言われて、人々に恐れられ恐怖のどん底に陥れました。記録によりますと、七月二十七日より九月二十三日までの55日間で26万8千57人が死亡し、江戸市中では16万119人が亡くなりました。南千住小塚原火葬場では6万3千78人を茶毘（だび）に付しています。石積み釜で薪で死体を燃やしており、その設備の悪さに時間がかかり悪臭は出たはずですが、明治に入り、ドイツから鉄製の死体焼却装置を購入しております。

当時は、まだコレラがどのような原因で発生し、死に至るのかが解明されておらず、その治療方法が確立されず、ただ収まるのを待つだけでした。漢方医の治療法では、なす術も無く「石炭」を撒き「お酢」や「からし」を身体に塗っておくだけで、手の施しようがなかったのです。また、当時の流布した錦絵を見ると水道の水汲み・魚河岸のイワシの売買・下し薬や・屋台店の天ぷら・夜なきそば屋が暇になった商売で、反対に超多忙の商売は一番が火葬三味場・早桶屋の職人・湯灌場で古着買屋・腹按摩療治屋・穴堀の寺男・薬店の調合師・参詣の花売ばあせと出ています。「飲み水」「鮮度の落ちた魚介類」「夜の屋台の天ぷら」「夜なきそばや」が市民も怪しいと思つたのかもしれない。吉村昭さんの小説「ころり」にも当時の市民が病気に対していかに無知であったかが書かれています。腕の良い医者が治療のために寝食を忘れて病院宅を飛び回って仕事しているのを、市民は医者が行く先々で死者が出るので、「あの医者は死霊を持って来る」と噂が広がりが市民が大勢かかって殴り殺してしまうという筋です。

☆六郎が語る☆
南千住一口話
特別編 第52回

この後40年位で公衆衛生思想が一般市民に浸透して医学の発達と共に急性伝染病が防げるようになりましたが、今度は慢性病の結核病へと移って行きました。百余年が経過しても次から次へと新しい病気との闘いは続いています。2004年10月の原稿を再度掲載致しました。（2004年9月の原稿を再度掲載致しました。）

吉田喜一教授の
ものづくり工学便り



東京電燈・千住工場↓南千住第二中

産技高専名誉教授 吉田喜一

東京電燈・千住工場は、火力発電所としては全国で初めて、蒸気機関ではなく蒸気タービンを導入した画期的な施設で、『帝都東京』の発展に寄与しました。

1917（大正六）年に廃止され、後に対岸の足立区に同名の発電所が作られました。それが有名なオバケ煙突 見る方向によつて煙突の本数が変わるの発電所です。

東京電燈は、1923（大正十二）年に関東大震災で甚大な被害を受けました。震災後急増した電力需要に対応するため、隅田川沿いに千住火力発電所の建設も開始し、1929（昭和四）年には5万kWの供給力を持つ大型発電所となりました。

この間、1928（昭和三）年には東邦電力系列の東京電力と合併しました。現在の南千住第二中学校そばです。

1955（昭和三十）年頃まで、隅田川につながる堀 燃料の石炭を運ぶ）があり、電灯堀と呼ばれました。千住発電所の名残です。南二中の前に教育委員会の説明板があります。



消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

今年はお盆休みなしで営業いたします！

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。ようやく梅雨が明け、本格的な夏がやってきますが、依然として終息しないコロナ禍で、普段とは異なる夏になりそうです。多くの学校で夏休みの短縮が行われますし、GOTOキャンペーンから東京発着の旅行が除外されたこともあり、旅行や帰省に出かける雰囲気も乏しい感じですが、身近な所では、コッ通りの盆踊り大会も今年は中止です。スツキリした夏空が広がっているのに出かけられないとは、もどかしく感じますが、私も我慢してこの夏はステイホームで過ごします。机上の地図と時刻表で計画を練りつつ、状況が好転したらJR東日本の新幹線・特急列車50%引き（えきねっとお先にトクだ値スペシャル）を予約して出かけてみようかな、と考えています。

今年はお盆休みなしで店を営業します。ステイホーム、テレワークに適した室内用・パソコン用レンズのご相談をはじめ、目を保護する新UVカットレンズや、紫外線で色が濃くなる調光レンズ、乱反射をカットし景色がクリアに見える偏光レンズ等のご相談もお待ちしております。ご注文のお客様には、当店ゆかりの地・福島県伊達市から取り寄せた特産の桃100%ジュースをプレゼントいたします（本日から先着順、数量限定）。なお、当店では感染症対策を実施しております。お客様のご協力をお願い申し上げます。

■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>
南千住5の43の13【東京新聞並び】
TEL 03（3806）4930

★休業日のご案内★

7月・8月 ……毎週火曜定休です。

★営業時間のご案内★

◎毎日、午後4時以降は「予約優先」です。ご来店予約は、当日までお電話にて承ります。なお、予約なしでも当日受付いたしますが、状況によりご来店をお待ち頂く場合がございます。

平日（月～金）…午前9時～午後6時30分 ※ただし、8月12（水）～14（金）は、土休日の時刻にて営業いたします。

土休日…午前10時～午後5時